

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社花の器	代表者	檜山 真	法人・事業所の特徴	鹿沼市南部の田園地帯の一角にグループホームと併設で、平成24年4月に設立。「あなたらしく」あり続けるために、介護者として必要な力量を兼ね備えられるよう成長を目指すことを、理念としています。常に真摯に向き合い、要望に対して最大限応えることを基本とし、地域に輪を広げながら家族と共に「あなた」を支えていく事業所です。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設花の器	管理者	檜山 慈		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	感染対策を取りながらどう地域との繋がりを持てるか検討し、平時の生活に戻していく。	当施設の特徴である小中学校との交流や、地域の行事への参加などの活動がコロナ禍で出来なかったが、ドライブでの外出や個別に興味の活動を行った。	スタッフの皆さんが介護という仕事に真摯に向き合っていることがわかる。事業所に伺ってもあいさつはもちろん対応も丁寧で温かさを感じる。	自己評価の「次回までの具体的な改善計画」を達成できるよう、常に意識して介護にあたる。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染予防対策の継続と、その人に合った環境の整備に努める。	フロアを広く使うための模様替えをし、各テーブルにはアクリル板を設置するなど感染予防に努めた。感染者が出た際は隔離が出来るよう借家を用意し環境整備を行った。	感染対策を取りながら居心地の良い環境作りに努めていると思う。	感染予防対策は継続しつつ、居心地良く過ごしていただくためにテーブルの配置、転倒等の事故を防止するための配慮に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	感染対策を取りながら交流事業を再開させる。	感染防止のため、学校や地域との交流を自粛したため開かれた施設にすることが出来なかった。日々の生活の中で楽しみを見出し、生活の様子は「咲くやこの花」を自治会の回覧版とご家族への配布し、Facebookでも発信しお知らせした。	民生委員と見守り隊が連携した取り組みを行っており、会議に参加してもらってはどうか。広報誌を自治会に回覧しているので、施設内外の活動の様子をPRできている。	感染対策を取りながらマイチャレンジ(中学生の職場体験)受け入れなど世代間交流を再開する。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	施設内での介護にこだわらず、自宅において生活が出来るようハード・ソフト両面の支援体制を整えたい。	通いのみではなく、訪問による支援も多く取り入れ自宅での生活の継続に力を入れた。地域の方々との関係も良好であり、庭に咲くお花をいただいたり、農家の方から野菜をいただくことも多かった。	コロナやインフルエンザ等の感染症が流行しているため、感染予防で外へ出るのを控えるのは当然のことと思う。以前のように地域の皆さんとの交流ができることを期待する。	訪問による支援件数が増えてきているので、自宅における生活が充実したものになるよう支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	感染予防策を取り会議を開催する。	今年度は感染対策を取ったうえで会議を開催することが出来、委員の皆様からご意見・ご助言をいただいた。	趣向を凝らした行事や、季節を感じるドライブ、季節の花を飾ったり日々の生活の中にも工夫をされていることがわかった。	委員の皆様からのご意見を介護スタッフに伝達し、日々の介護に生かせるようめする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練の実施と備蓄の確保を行う。	非常時に備えた食糧等の備蓄も行った。新型コロナウイルスにより、マスク、消毒液、手袋等衛生用品も十分備蓄が出来た。避難先の医王寺の現地確認と清州コミセンとの協定書も交わすことが出来た。	8月19日に防災講演会を実施した。情報を共有し参加してはどうか。現在は地域の防災訓練は実施していないが、今後は実施予定のため参加してはどうか。	地域の防災訓練に参加する。